

北関東防衛局広報

令和元年12月(第101号)

編集・企画発行 | 北関東防衛局総務部広報室
埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>



松が峰教会雪景色(写真提供:宇都宮観光コンベンション協会)

目次

CONTENTS

- 2 令和元年版 防衛白書の刊行
- 3 第13回北関東防衛施設地方審議会
- 4 横田基地 日米友好祭(2019)
- 5 駐屯地等の行事 地域のイベントでの広報活動
防衛施設建設に係る優秀工事局長感謝状
- 6 令和元年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰式
- 7 事務所だより(～宇都宮防衛事務所～)
イベント情報(第44回防衛問題セミナー開催のお知らせ)
- 8 北関東防衛局からのお知らせとお願い
 - ・米軍基地従業員募集
 - ・航空機へのレーザー光線の照射は犯罪です
 - ・米軍施設上空や周辺でヘリやドローンを飛行させる行為は危険です

令和元年版 防衛白書の刊行

令和元年版防衛白書が、9月27日(金)の閣議において配布され、刊行されました。防衛白書はわが国の防衛の現状と課題及びその取組について広く内外の周知を図り、その理解を得ることを目的として毎年刊行しており、前回の刊行(30年9月)からおおむね1年間に発生した事象や主要な政策などを中心に記述しています。

令和元年版防衛白書の構成、主な記述内容



令和元年版防衛白書は、新たな「防衛計画の大綱」(新防衛大綱)と「中期防衛力整備計画」(新中期防)の策定後、初の刊行となる防衛白書であることから、本白書の表紙においては、新防衛大綱が重視している「新たな領域」の一つである宇宙をモチーフとし、地球の背後から太陽が昇ってくる写真を使用することにより、新たな時代「令和」の始まりをイメージさせるものとしています。

本白書は、巻頭特集(①新たな防衛計画の大綱、②防衛この1年、③平成の防衛省・自衛隊)に始まり、ダイジェスト(本文の要約版)と続き、本文は「第Ⅰ部 わが国を取り巻く安全保障環境」、「第Ⅱ部 わが国の安全保障・防衛政策」、「第Ⅲ部 わが国防衛の三つの柱(防衛の目標を達成するための手段)」、「第Ⅳ部 防衛力を構成する中心的な要素など」の四部構成となっており、最後に巻末資料として、自衛官の募集、ワークライフバランス、援護に関する取組、主要装備品等が掲載されています。

本文においては、第Ⅰ部において新防衛大綱で重視されている米国、中国、北朝鮮、ロシアの動向のほか、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域・軍事科学技術をめぐる動向について、第Ⅱ部においては新防衛大綱及び新中期防策定のポイントとなる事項について、第Ⅲ部及び第Ⅳ部において防衛省・自衛隊の各種取組について、それぞれ詳細に記述しています。



令和元年版防衛白書の普及促進と当局の取組

令和元年版防衛白書は、防衛省ホームページで無料で閲覧できるようにしているほか、概要や閲覧方法を国民の皆様にも周知するため、ネットCMを作成し、Youtube、防衛省ホームページで公開しています。

内容面においても、巻頭特集においては写真を多用し、また、平成の時代における自衛隊の活動などをAR(拡張現実)動画により視聴できるようにするなど、国民の皆様が防衛省・自衛隊について知るきっかけを持ち、興味を深めていただけるよう工夫しています。

北関東防衛局では、地域の皆様にも防衛政策についてのご理解を深めていただく一助となるよう、管轄する茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、新潟、長野の各自衛隊地方協力本部や関係部隊等と協力し、1都7県414地方公共団体等の知事や市長等に防衛白書の説明をしています。



埼玉県(大野知事)への説明

第13回北関東防衛施設地方審議会

航空自衛隊新潟分屯基地で開催されました。



令和元年10月1日(火)新潟県新潟市に所在する航空自衛隊新潟分屯基地において、第13回北関東防衛施設地方審議会が開催されました。

防衛施設地方審議会は、地方防衛局長の諮問に応じて自衛隊又は駐留軍の使用により不動産等に生じた損失の補償額等について調査審議し、必要と認める事項を地方防衛局長に建議するために地方防衛局に置かれる組織です。

審議会には、渡邊敏会長のほか4名(1名所用のため欠席)の委員と当局からは松田局長ほか幹事である当局職員が出席し、渡邊会長挨拶、松田局長挨拶の後、航空自衛隊新潟救難隊総括班長片ヶ瀬3等空佐から航空自衛隊新潟分屯基地の概要、航空救難から災害派遣での活動の様子について、また、当局の担当者からは国有地の維持管理に関する防衛省の取り組みについて説明が行われました。

その後、自衛隊の活動に対する理解をより一層深めていただくため、審議会委員による装備品(U-125A、UH-60J等)の見学等が行われました。



挨拶をする渡邊会長



挨拶をする松田局長



UH-60Jを見学

横田基地 日米友好祭(2019)



令和元年9月14日(土)、15日(日)の両日、『横田基地 日米友好祭(2019)』が開催され、2日間で約14万人が来場しました。

日米友好祭のメイン会場となった飛行場エプロンでは、米軍や自衛隊の輸送機、戦闘機など総勢約40機の展示が行われ、航空機の前では米軍兵士や自衛官がそれぞれの航空機の説明を行ったり、機体をバックに子供達との写真撮影に応じたりと、和やかな雰囲気に包まれていました。特にC-17オスプレイの展示では、機内見学の長い行列ができ、来場者の方々の関心の高さがうかがえました。

また、昨年の友好祭でも実施されたC-17オスプレイの飛行展示では、滑走路上でホバリングしながら観客に向かって機首を傾けお辞儀した際に、来場者から大きな歓声が上がっていました。

米軍と自衛隊による共同展示として、日米友好祭では初めて陸上自衛隊第1空挺団(千葉県習志野市)による米軍のC-130Jからの空挺降下が展示され、日米間の相互運用性と共同対処能力の高さを披露しました。

南側エプロンにはアメリカンフードを販売する店が多数並び、ステーキやホットドック、ピザなどを購入する来場者の長い列ができ、その周辺では、多くの家族連れがレジャーシートを広げ、のんびり食事を楽しんでいました。

野外ステージでは、米国や日本のミュージシャンによる演奏が行われ、ビール片手に曲に合わせて踊る人などもいて、会場はさながらロックフェスティバル。演奏が終わるたびに拍手喝采が起きていました。

各種イベントの会場となった格納庫には、今年も北関東防衛局のブースを出展し、パネル展示などにより、防衛省・自衛隊や防衛局の役割・業務を紹介したり、防衛省・自衛隊に関する豆知識クイズを実施しました。

日米友好祭への来場者が集中する第5ゲート前では、警察によるDJポリスが国道16号を渡る人を整然と誘導、交通整理を行い、また、多数の警察官が周辺の道路や踏切など各所に配置され、拜島駅と牛浜駅の両駅を利用した多数の来場者は、安全かつスムーズに横田基地を訪れることができました。



駐屯地等の行事、地域のイベントでの広報活動

北関東防衛局では、防衛省・自衛隊の各種政策や活動についての理解を得るため、駐屯地等の行事や地域のイベントなどにおいて、広報活動を行っています。

当局の広報ブースでは、防衛省・自衛隊の各種施策や活動を紹介するパンフレットの配布や当局が取り組んでいる周辺対策事業等のパネル展示を行っているほか、展示したパネルの内容を見ながら防衛省・自衛隊に関するクイズを実施するなど、大人から子供まで、より多くの方々に防衛省・自衛隊の各種施策や活動に興味・関心をもっていただけるよう取り組んでおります。

今後も、一人でも多くの方に防衛省・自衛隊の活動等に興味を持っていただけるよう、様々な場所で広報活動を実施して参りますので、北関東防衛局のコーナーを見かけた際は、お気軽にお立ち寄り下さい。



4月 高田駐屯地創設記念行事



8-9月 艦艇広報(長岡市寺泊港)



10月 瑞穂町こどもフェスティバル



11月 入間基地航空祭

防衛施設建設に係る優秀工事局長感謝状



優秀工事4社に局長感謝状贈呈

11月7日(木)、当局発注の建設工事の実績等において、工程や現場等の条件が厳しく品質確保が困難ななか、強い責任感と卓越した技術をもって良質な施設を完成させた功績をたたえ、松田北関東防衛局長から下記の4社に対し感謝状を贈呈しました。

曾根建株式会社

新潟(29)試験室新設建築工事

株式会社 吉田組 東京支店

木更津(29)運動施設整備工事

岩田地崎建設株式会社 東京支店

所沢(30)造成工事

中村電設工業株式会社

朝霞(28)射場新設電気工事

令和元年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰式

202名を表彰しました。

令和元年10月16日(水)、東京都羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」において、令和元年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式が行われました。

この表彰式は横田基地、ニューサンノー米軍センター、赤坂プレスセンター等北関東防衛局管内の在日米軍施設に永きにわたり勤務された従業員の方々の功労を称えるために日米の共催で毎年実施されているものです。

式では、主催者である松田北関東防衛局長、セトカ第5空軍参謀長、サリバン在日米陸軍G1人事部長、ファバッカー在日米海軍日本管区司令部トータルワークフォース及び人事本部長、ウッズAAFE S横田エクステンジジェネラルマネージャーの祝辞の後、松田局長、各軍代表者から被表彰者に対し、表彰状及び記念品の授与が行われました。

最後に被表彰者を代表して、第730航空機動中隊所属の久下浩一さんが「この意義ある集いを心の糧として、長年にわたって培った知識や経験を生かし、これからも在日米軍施設の円滑な運営のため、従



来にも増して職務の遂行に励み、日米両国の架け橋としての役割を果たしてまいります。」と答辞を述べ、厳粛のうちに、表彰式は終了しました。

表彰式の終了後は地下レセプションホールにおいて懇談会が催され、表彰式の厳粛な雰囲気から一転して和やかな雰囲気の中、被表彰者をはじめ日米の関係者が集い、歓談したり出席者同士で記念撮影を行ったりと、それぞれ思い思いに交流を深め、笑顔と祝福に包まれながら、式典は盛会のうちに終了しました。



事務所だより ～宇都宮防衛事務所～ 大谷石のまち宇都宮

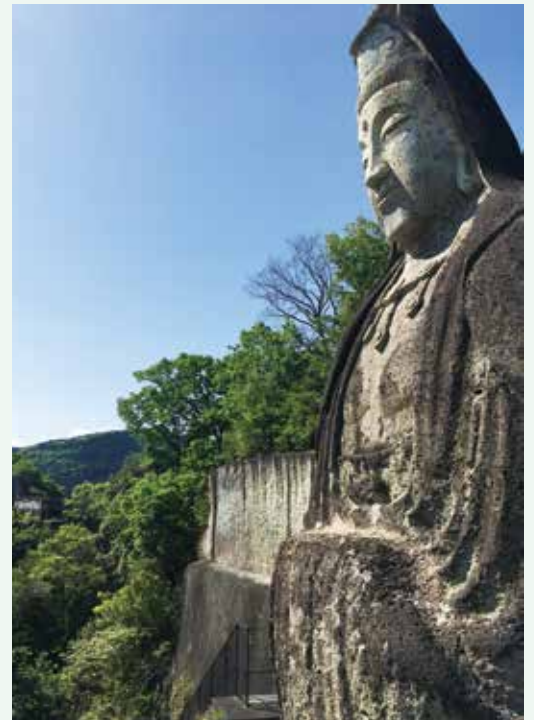
宇都宮防衛事務所は、宇都宮市の中心部から4 kmほど離れた、文化施設も隣接する閑静な住宅街が広がる地域に所在しています。事務室のある宇都宮第2地方合同庁舎には栃木労働局、宇都宮地方気象台が入居しており敷地内には宇都宮での桜の開花を判断する標本木のソメイヨシノが枝を広げています。

古くから街道の交わる交通の要所として人の往来がさかんなこの土地では、現在も食、芸術、スポーツそして2022年に運行開始予定のLRT(ライトレールトランジット:次世代型路面電車システム)を始めとする新しい技術の話題であふれています。

宇都宮の街を眺めると特徴的な石造りの建物を多く見かけます。これらは宇都宮市内で採掘された「大谷石」を使用して建てられています。少し緑がかった白地にまだら模様の涼しげな見た目が蔵の壁や庭園を彩ります。大谷石は今から約1,500年前に石棺として使用されたことが確認されており、時代を超えて愛されていることがうかがえます。近代では旧帝国ホテルの建材として用いられたことが有名ですが、市内で一際目をひくのがカトリック松が峰教会の聖堂です。1932年に完成した同聖堂は、スイスの建築家マックス・ヒンデル氏の設計によるもので、尖塔を2つもつ珍しい外観となっています。第2次世界大戦末期の空襲により屋根を損傷しますが、大谷石製の外壁の多くは残り、戦後の修復工事を経て今にいたります。

この松が峰教会を含む大谷石に関連する地域・施設は、2018年に「地下迷宮の秘密を探る旅～大谷石文化が息づくまち宇都宮～」のストーリーにより日本遺産に認定されています。これまで大谷石観光の中心的存在であった国の名勝「大谷の奇岩群」や「カネイリヤマ採石場跡地(大谷資料館)」のみならず、宇都宮市内38ヵ所をひとつの観光資源と位置づけ、大谷石が採掘され生まれ出るところから、活用され、歴史的な建造物だけでなく現代の店舗や公共施設としても利用され続けている魅力を積極的に発信しています。宇都宮防衛事務所の最寄駅である東武鉄道南宇都宮駅の駅舎もこのストーリーを構成する文化財のひとつとなっており、1932年開業当時の原形を今も残しています。

涼しげな見た目と大谷採掘場の地下空間の年平均気温が8℃前後というところから「冷たい石」というイメージをお持ちの方もいらっしゃるかもしれませんが、大谷石がふんだんに使われた宇都宮のまちは、石を今も変わらずいとおしむまちの人々のぬくもりで満たされています。皆様も是非、有名な餃子でお腹を満たした後に、お気に入りの大谷石スポットを探しに宇都宮のまちを散策されてみてはいかがでしょうか。



大谷石に彫られた平和観音

イベント情報

第44回防衛問題セミナー開催のお知らせ ～群馬県高崎市～

テーマ: 両毛と信越の守り～空中機動力を有す陸上自衛隊第12旅団～
開催日: 令和2年1月17日(金) 15:00～17:05(開場14:20)
会場: 高崎シティギャラリー コアホール(群馬県高崎市高松町35-1)
参加方法: 事前申込制 定員250名(入場無料) ※定員に達し次第締切

※都合により講師、テーマ等が変更になる場合がございます。
※お申し込みに際しては、北関東防衛局ホームページをご覧の上、FAX、メール等でご応募ください。
※問い合わせ先: 防衛省 北関東防衛局 企画部 地方協力基盤整備課 TEL:048-600-1844



北関東防衛局からのお知らせとお願い

米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、重大事故につながるおそれのある大変危険な行為ですので、行わないでください。

こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害した時等は、法令違反に当たる場合があります。



米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、米軍の航空機との衝突事故等につながるおそれがある大変危険な行為です。

実際に、米軍ヘリが衝突を避けるために回避を余儀なくされる等、米軍航空機の航行の安全に影響が生じるような事案が発生しています。こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害したとき等には、法令違反に当たる場合があります。

安全確保のため、御理解をお願いいたします。

防衛省、警察庁、国土交通省、外務省

- 本チラシの内容についてのお問い合わせにつきましては下記のいずれかの部署に御連絡願います。
- 防衛省本省 地方協力局地方協力企画課
(代表) 03-3268-3111 (内線: 36245、36047)
- 防衛省北関東防衛局 総務部報道官
(直通) 048-600-1804

在日米軍従業員募集

日本の「アメリカ」で働きませんか!

「エルモ」が応援! あなたの就活!



Bridge

Between

japan

and

USA

独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】では、在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。興味のある方は、エルモホームページをご覧くださいか、下記の支部にお問い合わせください。

窓口応募受付・お問い合わせ先 <https://www.lmo.go.jp>

エルモ横田支部管理課管理第二係

住所: 東京都昭島市田中町568-1 昭島昭和第2ビル 4F
電話: 042-542-7663
担当施設: 横田飛行場、ニューサンノー米軍センター、赤坂プレス・センター他

レーザー光線の航空機への照射は**犯罪**(注)です。

東京都内、神奈川県内、沖縄県内等で飛行中の航空機に対してレーザー光線を照射するという事案が多発しています。

墜落等による大惨事をもたらしかねない大変危険で悪質な犯罪ですので**決して行わないで下さい。**

照射している人を見かけた方は**110番通報**をお願いいたします。

(注) 平成28年12月、改正航空法施行規則が施行され、規制が強化(レーザー光線を航空機に向かって照射する行為自体に罰則(50万円以下の罰金))。刑法の威力業務妨害罪(3年以下の懲役又は50万円以下の罰金)、航空危険行為処罰法の航空危険罪(3年以上の有期懲役)等に該当する場合あり。



レーザー光線による操縦士への影響(イメージ)

平成27年12月及び平成28年11月に威力業務妨害罪で逮捕例あり。

外務省、防衛省、警察庁、国土交通省

- 内容についてのお問い合わせにつきましては下記に御連絡願います。
- 防衛省本省 地方協力局地方協力企画課在日米軍調整室 (代表)03-3268-3111(内線:36867、36054、36688)
- 防衛省北関東防衛局企画部地方調整課
(東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、長野県を管轄) (代表)048-600-1800(内線:2213、2225、2226)

「北関東防衛局広報」のバックナンバーは、北関東防衛局のホームページでご覧になれます。

<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/kouhou/kouhou.html>

北関東防衛局広報